

知事との県民対話集会（千曲市）概要

- ・開催日時 令和5年1月14日（土） 午後5時から午後6時30分まで
- ・会場 千曲市役所 3階会議室
- ・参加者 県民48名、小川千曲市長、阿部知事、中坪長野地域振興局長
- ・テーマ 地域資源を活かした千曲市の観光と農業の振興

・主な発言（要旨）

【参加者】

- ・有機農業は仲間が少ないこと、売り先が少ないことが課題となっている。行政が率先して有機JAS認証の農産物の受入先となり、学校給食で使用してほしい。
- ・県は有機給食を提供するという全国初の目標をつくる等、積極的な政策を行ってほしい。

【知事】

- ・有機農業は県も振興したいと思っているが、私が言ったり県の計画に書いたりしただけでは広がらない。一緒に考えていきたい。
- ・県が助成して学校給食に取り入れることもよいと思うが、（市町村立の）小中学校のことは地域で話し合いをしてほしい。コスト面等で課題があれば、県も一緒に考えたい。

【参加者】

- ・あんずを次世代へつなげていきたい。日本一のあんずの里を何とか残したいと頑張っているが後継者がいないことが一番の問題となっている。高齢化で畑作業ができなくなったとき、企業が請け負ってくれるなど、担い手の確保について地域で考えていければよいと思う。
- ・地元の伝統野菜として認定されている「上平大根（わってらだいこん）」も残していきたい。

【知事】

- ・森のあんずは宇和島との交流の原点でもあるので、地域の特産物、観光資源として大切に育ててほしい。県の大切な資源として問題意識を持って取り組みたい。
- ・あらゆる分野の人材確保については県全体で考えていくが、森のあんずの担い手確保は地域振興局と一緒に考えてほしい。
- ・県では職員の兼業を認めている。農業については特に積極的に協力するように言っている。地域振興局長にも制度普及を図ってもらいたい。また、農福連携も検討できないか、作業内容を共有し地域振興局と一緒に考えてほしい。
- ・伝統野菜についても活かす取組を考えなければいけない。観光客に提供できないか検討し、ストーリー性を持たせて発信していただくことを地域で考えてほしい。

【中坪長野地域振興局長】

- ・長野地域は、あんずを含め果樹の生産が盛んだが、人口が減少し、農業の担い手も減少していることが課題となっている。地域の皆さんにも応援団になってもらい、果樹の生産を手伝い、消費もしていただく形で果樹の生産振興を盛り上げていきたいと考えている。現在そのような取組を県民参加型予算として要求している。

【参加者】

- ・千曲市初のワイナリーを昨年8月にオープンした。ワイナリーに訪れるだけでなく戸倉上山田温泉で温泉体験ができるワインツーリズムを企画している。ワインツーリズムへの支援をお願いしたい。
- ・小規模ワイナリーではぶどうの収穫量が少なく効率が悪いため、結果的にワインの販売価格が高くなってしまった。農業用の機械や醸造機器の助成、レンタル制度など小規模ワイナリーへの独自支援をお願いしたい。

【知事】

- ・小規模ワイナリーの効率化のため、ボトリングを一か所でまとめてできないかと思っているが、国の規制がある。コストダウンのための規制改革を求めている。
- ・物の価格が上がっているが、税金で価格高騰を支え続けることは無理だと思っている。適正な価格で物を買うことを考えたい。例えば、軽井沢に来た観光客を千曲市に呼び込み、適正な価格でワインを購入してもらうようなことを考えていく。そのような部分に税金を使いたいので協力をお願いしたい。
- ・千曲市は様々な資源があり泊まる場所もある。少量生産、多品種生産の農業は観光に親和性が高いので、地域で考える場をつくり、地域で協力していくことが重要。千曲市の総合力を発揮してもらいたい。県も協力していく。

【参加者】

- ・国や県からの観光支援が終わった後の対策が課題となっている。今後の地域づくりや観光誘致のつくり方について、県でイニシアチブを取ってほしい。
- ・インバウンド事業の推進を改めて県で推し進めてほしい。

【知事】

- ・市の中で話し合う場があるとよい。千曲市は資源がたくさんあるので、皆さん同士の対話によりブランディングが生まれる。まず市民が千曲市の売りを発信し、DMO（観光地域づくり法人）はその地域資源を結びつける。DMOの活動自体は県としても応援していきたい。
- ・観光振興に関する税を検討している。観光に投資していくためには観光客にも一定の負担を求めることが必要ではないかと思っている。用途や徴収方法等一緒に考えたい。

【参加者】

- ・稲荷山地区を活性化しようと思い活動している。稲荷山地区には産業が少ないが、長雲寺や龍洞院、善光寺地震にも耐えた極楽寺の鐘付き堂などがあり、文化歴史を宣伝したらよいと思う。
- ・まちづくりの活動組織は共通の目標や課題を抱えている。もっといろいろな地域づくり団体同士が交流できる場があるといい。

【知事】

- ・県内で千曲市のようにたくさんの資源があり、しかも交通が便利なところは他にほとんどない。まちづくりは地域で考え、方向性を持って取り組んでほしい。地域の個性や強みを発揮してほしい。市で独自の考えを持ってもらい、県はそれを尊重し応援する。

【参加者】

- ・県立歴史館と森将軍塚古墳館（市立）との連携協定が締結され、これにより2館共通券ができ、来館者も増えた。連携体制が今後も強固に続いてほしい。また古墳館だけでなく、千曲市にある他の博物館で催し物等がある場合には協力してほしい。
- ・NHKで森将軍塚古墳が放送された際には来館者が増えた。県の宝として大々的に森将軍塚古墳の宣伝をしてほしい。また、周辺に案内看板等も付けてほしい。

【知事】

- ・博物館数は全国一多いが総合力の発揮が課題。博物館の連携は進めていきたい。
- ・長野県の文化財や歴史文化に係るものをどうやって統一的に発信するかについて考えていかなければならない。地域の皆さんもどう発信していけばよいか考えていただきたい。

【参加者】

- ・学校現場の立場から県と市に感謝している。歴史館と古墳館は、地元はもちろん、県内外の修学旅行や社会見学場所としてたくさん利用されている。歴史館と古墳館がこれからも連携して、コラボイベントをしていただきたい。県立と市立の共通券は子どもたちの教育面でとてもよい。これからも県と市が協力してほしい。

【知事】

- ・仕組みをつくってくれた皆さんに私からも感謝したい。

【参加者】

・森林づくり県民税の用途について、地域の木が活用されるように山の地主や木の所有者にお金を出すようなシステムにしてほしい。

【知事】

・森林づくり県民税は4月から5年間延長させていただく。今までは間伐中心だったが、今後は主伐・再造林に切り替えていく方向。山の所有者が一定の収入を得られるよう意識して制度設計したつもりだが、もしまだ不十分であれば言ってほしい。

【参加者】

・長野県みどりの食料システム戦略推進計画をつくっているが本当に実現できるのか。有機農業に取り組む人が少なく、このままでは次世代に影響が出る。

・至急、学校給食を有機給食に切り替えるために県として努力していただきたい。

・日本の食料自給率は先進国最低のレベルにもかかわらず、農業をする人が減っている。食料の増産をするために農業支援をお願いしたい。

【知事】

・有機給食の普及の話は他でも出ていて、農業サイドと教育サイドと一般消費者の意識を繋げないといけない分野だと思う。しっかり問題意識を持って県全体でどう取り組むか考えていきたい。

・新しい総合計画に食料保障を明記するよう指示している。遊休農地をどう活かすかもっと真剣に考えていきたい。農業で働くことの意義、素晴らしさややりがいを発信していかなければならない。遊休農地が増えて担い手なく、継続できない方々がたくさんいるのでしっかり考えていきたい。

【参加者】

・今日参加して地域の中での横のつながりが大切と感じた。

・県内の文化財や史跡名勝をまとめたパンフレットを作成するなど、継続して長野県に来てもらえるような仕組みをつくってほしい。

【知事】

・いい資源、いい食、いい文化があるが伝えられてないのは県の共通課題である。情報発信について文化財も含めて県としてしっかり考えていきたい。